

芸術教育の推進

芸術教育の現状と課題

- 子どもたちの芸術・文化に対する興味・関心を高めるため、「本物の体験」による小・中・高を通じた芸術教育を推進

【成果】

- ・越前和紙を用いた作品制作や菱田春草「落葉」など福井ゆかりの芸術家の作品を美術教育に活用
- ・五嶋みどりなど著名な演奏家の直接指導や全小学5年生が音楽堂でのプロオーケストラ鑑賞、演奏家が中学校を訪問する「出張音楽堂」により一流の音楽を体験

【課題】

- ・小・中・高校に弦楽活動が広がっているが、多くの中学生・高校生が部活動に参加する吹奏楽を専門的に指導できる教員を養成する必要
- ・書道など文字文化が全県的に根付いており、地域の指導者は多いが、書写・書道を専門的に指導できる教員が減少しており、強化することが必要

弦楽

【進捗状況】

- 平成23年度から、小・中・高校においてバイオリン等の弦楽指導を実施
 - ・平成28年度は児童・生徒164名が参加（平成23年度～ 延べ742名）
- 一流演奏家による直接指導を実施（五嶋みどり氏、長尾春花氏、黒川侑氏）
- 年間約350回の専門家（15名）を派遣（1校あたり約30回）
- 複数校の合同演奏会開催、講師等主催の演奏会へ出演（平成28年度：8回）
- 東京都の先進校講師を招聘し、指導者講習会を実施

【課題と対応】

- 嶺南地区の活動を強化するとともに、嶺北地区との交流を促進
- 東京藝術大学院生などによる専門的な指導の拡充が必要

日本画

【進捗状況】

- 小・中・高校において図工・美術の授業で日本画を活用
 - ・平成27年度～：全公立小・中学校、高校で実施
- 越前和紙を使用した日本画等の教員向け実技研修を実施
 - ・平成27年度：167名、平成28年度：53名
- 東京藝術大学美術学部へ教員を派遣 平成26、28年度：1名ずつ派遣
- 表現技能の向上にむけて、東京藝術大学院生による出前授業を実施
 - 中学・高校の美術部員を対象に研修会を開催
 - ・出前授業参観：延べ30人
 - ・研修会参加：生徒：50人 教員：15人

【課題と対応】

- 部活動のレベルアップのための専門的な指導の充実と教員の指導力向上

吹奏楽

【現状と課題】

- 多くの生徒が吹奏楽のクラブや部活動に参加（3,791名）
 - ・中学生：2,542名 [全中学生の11%] ・高校生：1,149名 [全高校生の7%]
- 専門的に指導できる教員が不足しており、全国大会での金賞受賞歴なし
- 市町は主に楽器修理や運搬等を支援
 - （1市町あたり年間支援平均：約1,500千円：楽器修理・運搬等）

【対応案】

- 高校・中学校を指定し、目標を定めて中高が連携した演奏技術の向上を促進
 - ・県外プロ指揮者等による指導教員研修会を実施
 - ・高校生と中学生との合同練習会・演奏会を実施
 - ・導入が困難な大型楽器の購入を支援し、演奏可能な楽曲を拡充
- 指定校以外の高校・中学校に対しても指導者を派遣

書写・書道

【現状と課題】

- 書写・書道の授業において実技指導に課題を持つ学級数
 - ・小学校：502学級(36%)、中学校：187学級(20%)、高校：6校(部活動)

【進捗状況】

- 基本的な筆使いがわかるDVDを作成し、全小・中・高校へ配布
 - 書写DVDの監修者(青山浩之氏：横浜国大)による親子書道教室を開催
- 教員向け書写・書道研修会を開催（115名参加）
- 越前和紙に漢字一字を書いた作品展を開催（500点展示）

【対応案】

- 県内の書道団体と連携した指導者の派遣など学校における書写・書道教育を支援
- 細部の筆の動きが分かり、上達につながる動画教材を作成